

令和元年度津山洋学資料館夏季企画展

箕作家の 歴史研究

— 西洋史はどう伝わったか —



阮甫



省吾



麟祥



元八



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

令和元年

会 期：7月6日(土)～9月16日(月・祝)
開館時間：9時～17時 (入館は16時30分まで)
休 館 日：月曜日 (祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
会 場：津山洋学資料館 企画展示室

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地
TEL 0868-23-3324 FAX 0868-23-9864

箕作家の歴史研究

―西洋史はどう伝わったか―

津山藩の洋学者箕作阮甫は、生涯で160冊を越える翻訳書を著わしました。その内容は、医学や語学、地理学、科学技術など多岐にわたります。なかでも西洋の歴史は、特に力を入れて研究した分野の一つです。養子となった省吾とともに、地理書『坤輿図識』を訳述し、世界の国々の歴史についても紹介しました。その補編を執筆中に省吾は病没し、遺志を継いだ阮甫の手によってまとめられます。江戸時代の後期、諸外国の船が相次いで来航し、人々が世界へと視野を広げていくなかで、阮甫と省吾はその関心に応えたのでした。

さらに阮甫の初孫である麟祥は、幕府の開成館に出仕し、パリ万国博覧会に派遣された徳川昭武に随行、見聞を拡げました。明治時代になると司法省に入職し、フランス法学や経済学を学びます。法制官僚として活躍するかたわら、『万国新史』を刊行し、世界の歴史を綴りました。

同じく阮甫の孫で、麟祥の従弟にあたる元八は、二度のドイツ留学を経て東京帝国大学文科大学（現東京大学文学部）西洋史学科教授となりました。元八は『フランス大革命史』をはじめとする多くの歴史書を著わし、それらの本を皇太子時代に愛読した昭和天皇は、のちに「最も知的な影響を受けた」と語られています。

本展では、今年没後100年を迎える元八の業績を中心に、江戸時代の終わりから明治、大正時代にかけて、箕作家歴代の人々がどのように西洋史研究に取り組んだのかを紹介します。



ベストセラーの世界地理書
『坤輿図識』(天・地・人)
箕作省吾 著
1845～47(弘化2～4)年



日本最初のオランダ国図
『新訳和蘭国全図』(複製)
鷹見泉石 編 箕作阮甫 序
1852(嘉永5)年



アメリカの歴史を紹介
『聯邦志略』(上・下巻)
ブリッジメン 著 箕作阮甫 訓点
1864(元治元)年



明治初期の世界史教科書
『万国新史』(上編巻一)
箕作麟祥 纂輯
1871(明治4)年



日本人初の本格的な革命史研究
『フランス大革命史』(前・後編)
箕作元八 著
1921(大正10)年



第一次世界大戦の研究
『世界大戦史』(前編)
箕作元八 編
1919(大正8)年

- 開館時間/9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(会期中の休館日:7/8・16・17・22・29, 8/5・13・14・19・26, 9/2・9)
- 入館料/一般300円, 高校・大学生200円(常設展示と共通・30名以上の団体は2割引)

津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地
TEL:0868-23-3324 FAX:0868-23-9864
URL: http://www.tsuyama-yougaku.jp
e-mail: yougaku@city.tsuyama.lg.jp



- 交通のご案内
- ・JR津山駅から東循環ごんごバス南廻り線で12分、西新町下車徒歩2分
 - ・中国自動車道 津山ICから車で15分・院庄ICから車で20分
 - ・資料館前に駐車場10台